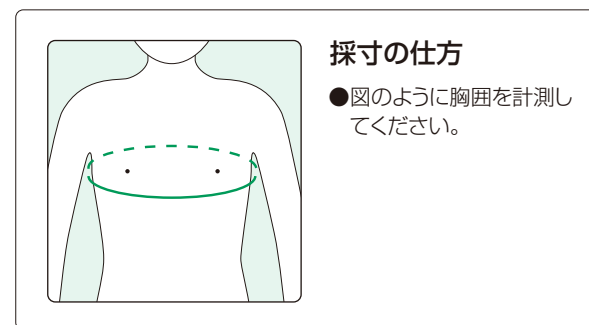


取扱上のご注意(その1)

ご使用前に

- 本品の適用範囲は、下記の表の通りとなっています。装着するサイズを確認の上で使用ください。サイズは胸囲を基準とし、図の位置を計測して選択してください。
※2つのサイズにまたがる場合には、大きいサイズをお選びください。

サイズ	適用範囲(胸囲)
L~LL	95~133cm
M~L	75~115cm



ご使用中に

- 長期の使用により本体およびパッドカバー等の各部品が破損する場合があります。破損した場合は使用を中止してください。そのまま使用すると確実な保持性が得られないだけでなく、装着者本人や他の人を傷つける可能性があります。
- 使用中ズレ、ゆるみが発生したら正しく装着し直してください。ズレ、ゆるみがあると確実な保持性が得られません。

取扱上のご注意(その2)

洗濯方法

- 30℃以下の水で中性洗剤を使用し、手洗いしてください。
- 漂白剤、乾燥機の使用、アイロン、ドライクリーニングは避けてください。
- 洗濯後は陰干してください。

廃棄方法

- 本品を廃棄するときは、各自治体の廃棄区分に従ってください。

品質表示

前 腕 袋：ポリエステル、ポリアセタール、綿
肩ベルト：ポリエステル、ポリプロピレン
胸ベルト：ポリエチレン、ナイロン、ポリエステル、綿
肩パッド：ポリウレタン、ナイロン、ポリエステル、綿
包 装 袋：ポリエチレン

ALCARE

アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
TEL.03-5611-7800(代表) FAX.03-5611-7825
www.alcare.co.jp

0615/2

for Best Care **ALCARE**

ショルダーブレース・IR Shoulder Brace-IR

内旋位肩関節保持具

Shoulder Immobilizer in Internal Rotation

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、商品の特性を十分に理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書はお手元に置き、必要に応じてお読みください。

お客様相談室 ☎ 0120-770-175

www.alcare.co.jp

はじめに

《ショルダーブレース・IR》は、肩関節内旋用に開発された肩関節保持具です。腕つりと胸ベルトの組み合わせにより、肩関節の内旋保持を高めます。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせずこの取扱説明書に従いご使用ください。尚、商品についてご不明な点は下記までご連絡ください。

使用上のご注意

*[使用上のご注意]では、その危険度に応じて次の区分をしております。

△ 警告……人身事故につながるおそれのある注意事項

注 意……物損事故につながるおそれのある注意事項

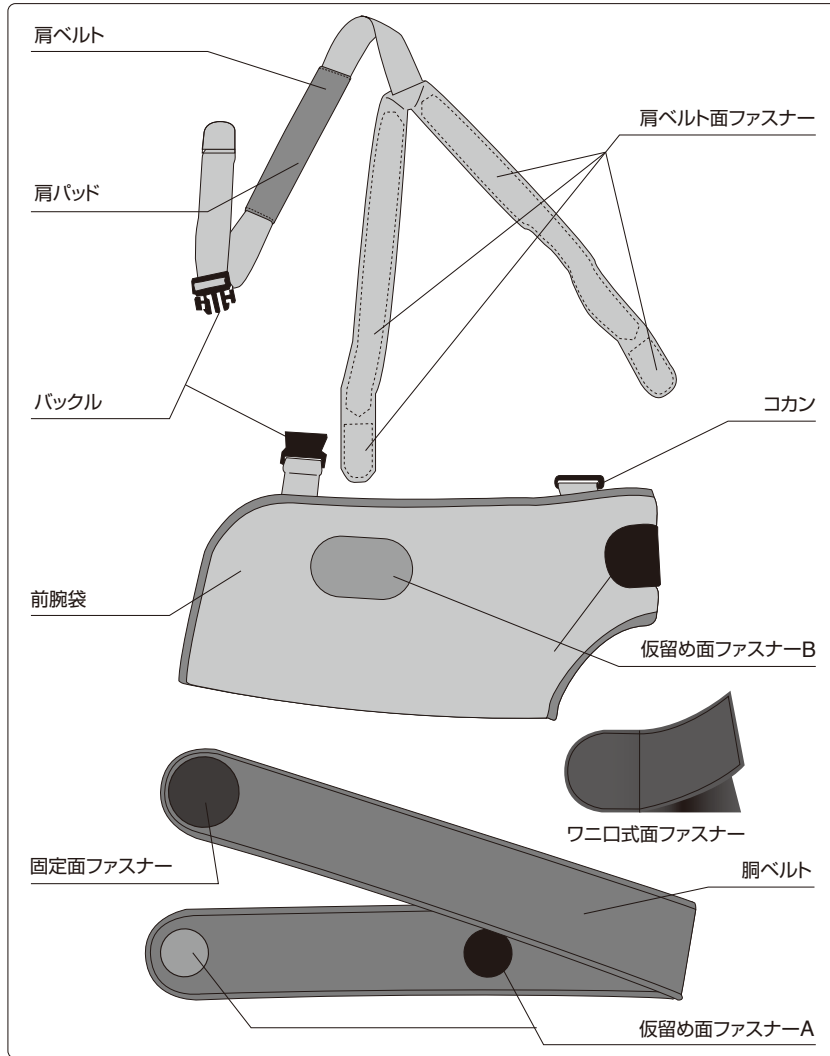
警告

- 本品の使用に際しては、必ず取扱説明書の使用手順および医師の指示に従ってください。
- 本品は単回使用製品です。1名に使用した本品は、再使用しないでください。
- 本品は化繊を使用しておりますので、本品の使用によりかぶれなど何らかの異常が生じた場合には、使用を中止してください。
- 下着・肌着などの上から装着し、本品が肌に直接触れぬようご使用ください。
- 長期間の使用や使用状況によっては破損する場合があります。破損した場合は速やかに使用を中止してください。
- 胸ベルト、前腕袋、肩ベルトで体を過度に圧迫しないようご注意ください。血行障害、しびれ、神経障害など異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
- 使用中ズレやゆるみが生じた場合は、正しく装着し直してください。
- 装着部に傷、腫れ、湿疹などがある場合には使用しないでください。
- 夜間就寝時および入浴時の使用は、医師の指示に従って装着してください。

注意

- 使用後は、風通しのよい場所に保管してください。
- 面ファスナーを着衣に引っかけないようにご注意ください。
- 保管に際しては、車の中など高温になる場所には置かないでください。

各部の名称

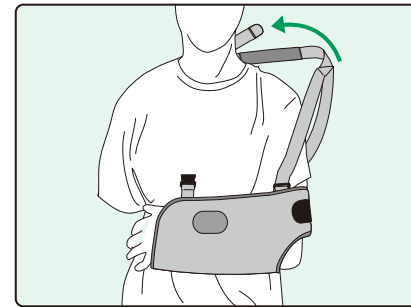
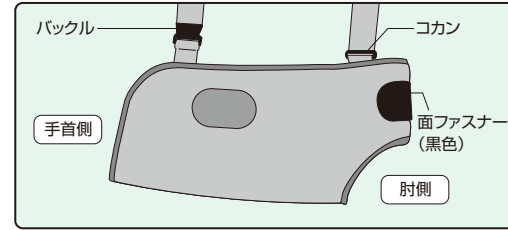


製品仕様およびデザインは、品質改良にともない変更する場合がございます。それにより、イラストと実際の製品とで若干の違いが生じる場合がございますことをご了承ください。

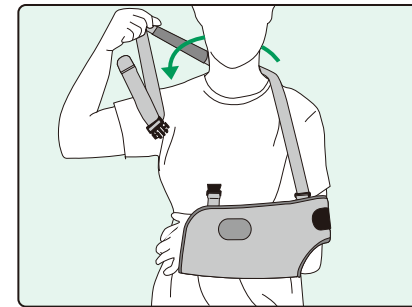
使用手順

保持具を装着します

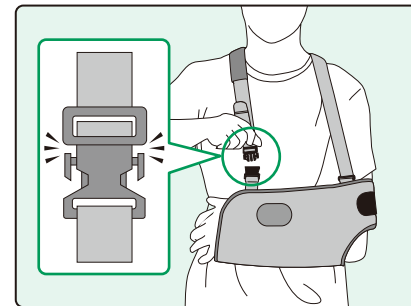
1 前腕袋の方向を確認してください。バックルがついている方が手首側です。



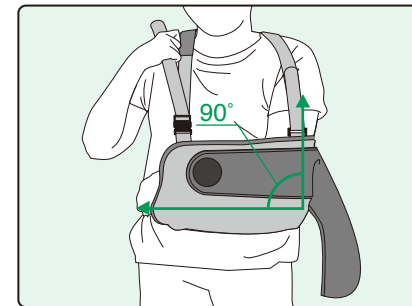
2 前腕袋に患部側の前腕を入れます。肘部を前腕袋の孔から出したら肩ベルトを首にかけてみます。このとき肩部にベルトの交差している部分が当たるようにします。



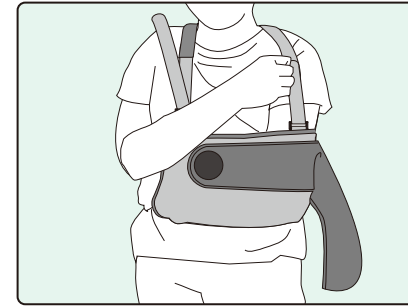
3 患部の反対側の手で肩ベルトのバックル側を矢印の向きに沿って首の後ろへまわします。



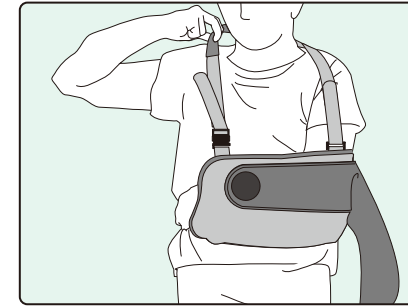
4 肩ベルトのバックルを、前腕袋のバックルへしっかり差し込みます。



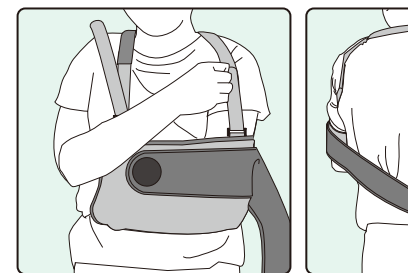
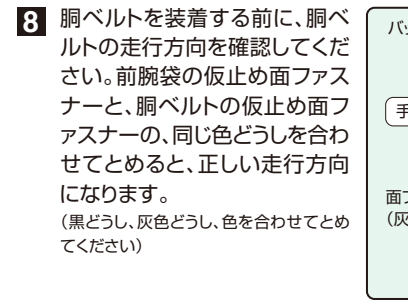
5 バックルから出た肩ベルトを上につまみながら、肘が90度程度に曲がるように調整します。



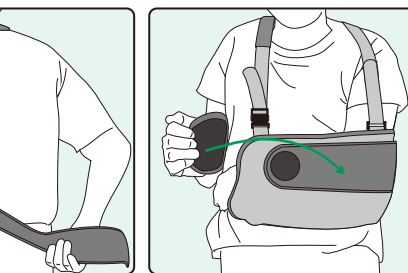
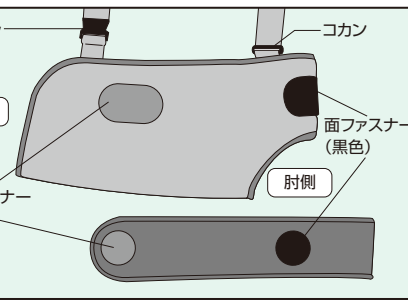
6 コカンに通した肩ベルト面ファスナーをとめ直し、肩ベルトを肩にフィットさせます。



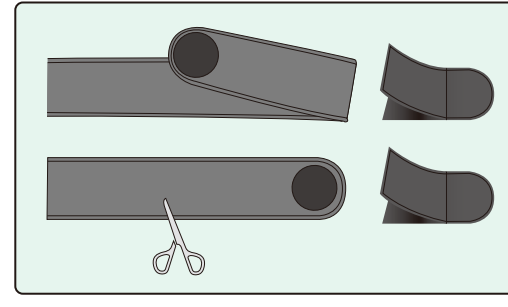
7 肩パッドを任意の場所にすらして、頸椎周辺に過度の圧迫がかからないようにしてください。



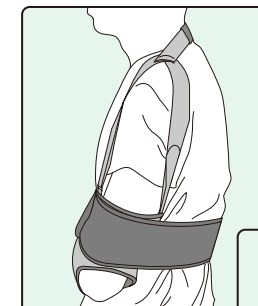
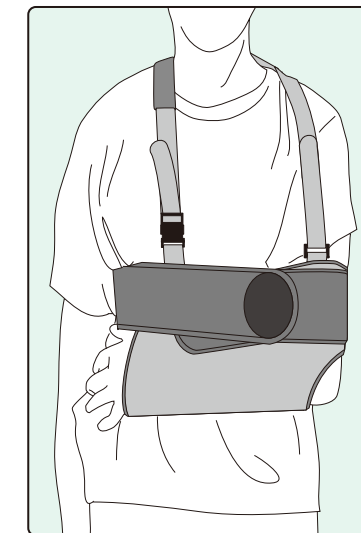
9 仮止めた腕ベルトを肘側から背面にまわし、さらに前面に回します。腕ベルト先端の固定面ファスナーでとめ、腕を体幹に固定します。



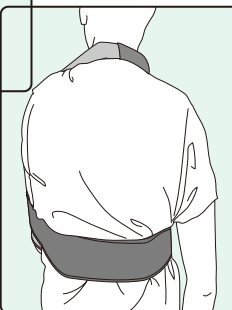
10 固定した腕ベルトが長過ぎる場合は、腕ベルトの先端を折り返すか、カットし、先端に付属のワニ口式面ファスナーを取りつけて調整してください。腕ベルトをカットする時は、切り過ぎに注意してください。



装着完了



●肩ベルト、腕ベルトの締め付けすぎにご注意ください。



●面ファスナー、バックル等がしっかりとまっていることを確認してください。